

# 岐大通2014

2014 J.League Division2

F C 岐阜大好き通信 (岐大通)

4/20号

## 第8節 栃木SC 戦

編集発行：『岐大通』製作委員会

今号の製作担当：

ささたく&吉田鎔造

4/20 13:00 @岐阜メモリアルセンター長良川競技場

today's guest : 栃木SC 2013 J2 17勝12分13敗 勝ち点63:第9位

1953年に創設された『栃木教員サッカークラブ』は、1994年から『栃木SC』に。1999年に関東リーグに昇格していきなり優勝、地域決勝でもアローズ北陸(現:カタレ富山)に次ぐ2位でJFL昇格を決める。JFLでは9シーズンを戦い、2008シーズンで2位となり、カタレ、フジアーノ岡山とともにJ2昇格となる。(吉田鎔造)

4/5 ホームでの福岡戦では、相手よりも多くのシュートを放ちながら惜しくも敗戦してしまっただが、続くアウェイの4/13 横浜FC戦では、わずかにシュート2本だったにも関わらず5試合振りに勝利を収めたFC岐阜。こういう試合で勝ちを拾えたことは大きい。内容と結果のアンバランスさが好対照な2試合を経験して、またチームが成長してくれたと期待したい。特に横浜FC戦では10人となってから30分近く守り抜いたことで、大きな自信になったことだろう。これで順位も10位に上昇し、プレーオフ圏内である6位に勝ち点差1と迫っている。ただし、リーグは7試合を消化したばかりでまだまだ長く続くし、2位から19位までが勝ち点差6以内にひしめく混戦状態だ。この段階できちんと勝ち点3を積み上げることが、特にホーム戦では勝利することが、今後のリーグ戦を楽に進めるために重要だ。

さて、今節の対戦相手は、その勝ち点差1で6位につけている栃木SC、JFL時代からしのぎを削ってきた相手だ。(Jリーグでの)通算対戦成績は4勝2分5敗10得点12失点とほぼ互角だが、残念ながら負け越し。前回対戦した10/27 ホーム戦でも0-1と敗戦している。この試合では是非ともリベンジを果たして、勝率も五分に戻さなくてはならない。

栃木SCで最も警戒しなくてはならないのが、チーム総得点8点の内、5得点を挙げている大型FW#9 瀬沼優司だ。1トップの彼がゴールを挙げた試合では栃木は負けていない。逆にゴールしないとは勝てない、まさにキーマンと言えるだろう。また、#32 近藤祐介と#39 大久保哲哉の大型ベテランFWも揃っており、油断はできない。一方のFC岐阜は、その瀬沼をDF陣がいかに封じ込めるかが本当に重要だが、ルーキーながら開幕からCBの柱として活躍してきた#33 阿部正紀が前節の退場により出場停止だ。前節でJ2通算出場300試合を記録したベテランCB#35 木谷公亮の相方を誰が務めるのか、#15 へニキまたは#5 関田寛士が有力だと思われるが、阿部の座を脅かす活躍を見せて欲しい。また、攻撃陣にも少し変化が欲しいところだ。こちらは#9 ナザリトの相方を誰にするのか、怪我から#24 難波宏明が復帰できるのか、あるいは他の選手を試すのか。ラモス監督の選手起用に注目したい。また、#11 三都主にとっては栃木は昨年在籍した古巣だ。一方の栃木にも、かつてFC岐阜に在籍した#14 菅和範(08~11年)、#15 永芳卓磨(09~11年)がいる。対戦には普段よりも気持ちが入っていることだろう。

前回のホーム福岡戦では、何度も惜しい決定的なシーンを作りながら、ネットを揺らすことは1回しかできなかった。ホームの大歓声を味方につけて勝利するためには、やはりゴールを挙げるのが一番効果的だ。一方で選手の背中を後押しして、ゴールを決めて貰うためには大きな声援が欠かせない。選手とサポーターが一体となって、ホームスタジアムの雰囲気を作り出そう。岐阜の選手の活躍に拍手と歓声を送ろう。そして試合終了の笛の後には一際大きな歓声を上げ、選手たちと勝利の万歳四唱をしようじゃないか。(ささたく)

### 2014J2

■順位表■第7節

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績(岐阜から見て)

1	湘南	21p	+18	21	3	H●
2	長崎	14p	+7	15	8	
3	磐田	13p	+7	16	9	
4	松本	13p	+5	12	7	
5	京都	12p	+5	11	6	
6	栃木	11p	+3	8	5	
7	札幌	11p	+2	7	5	
8	福岡	11p	-1	11	12	H●
9	大分	11p	-1	6	7	
10	岐阜	10p	+2	11	9	---
11	水戸	10p	+1	6	5	
12	熊本	10p	-1	9	10	
13	北九州	10p	-3	8	11	
14	千葉	10p	-4	8	12	
15	山形	9p	+2	9	7	A●
16	愛媛	9p	+1	7	6	A△
17	群馬	9p	-4	5	9	
18	横浜FC	8p	-1	5	6	AO
19	岡山	8p	-2	4	6	
20	東京V	4p	-6	7	13	
21	富山	1p	-14	2	16	HO
22	讃岐	0p	-16	4	20	HO

### 次回HomeGame

第10節 ザスパクサツ群馬戦

4/29(火・祝) 13:00

@岐阜メモリアルセンター

長良川競技場



本庄工業株式会社

<http://www.honjo-woodream.com/>

### 岡田歯科医院

岐阜市加納新本町1-23

tel:058-273-8998

### ALADDIN

何も無い店だけど..

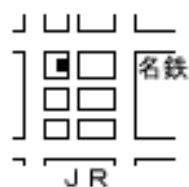
心の花が咲く..

何も無い店だけど..

心癒される..

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)



「いらっしゃいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は

JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。

休:月曜(定休日が変わりました!)

### 投稿募集!!

gidaidohri@hotmail.co.jp

## 【第6節】 岐阜 1-2 福岡

●同点に追いついた直後に決勝点を奪われての敗戦だけに少しもったいなかったかなあと。

試合全体はボールポゼッションも高く優位に試合を進めていたと思う。だが福岡はDFラインが非常に浅くナザリトに合わせて放り込まれるボールがことごとくオフサイドトラップに引っ掛かってしまっていた。ナザリト中心の攻撃というのはもうミエミエなので、もう少し攻撃のバリエーションを増やして相手のスカウティングの裏をかくことが重要になってくると思う。ただ中盤でワンタッチでボールを繋げていけている面もあったので監督の目指すパスサッカーについては少しずつ浸透していつているのではと感じた。

決して悲観するような内容ではなかったもので、切り替えて次に向かってもらいたい。(岐阜の誇り)

●うーん、勿体ない…内容は本当にいい試合だったと思うだけに、余計にそう感じるのだろう。(こう言っただけに失礼だけど)「おいおい今年のウチってこんなサッカーできるんか(笑)」ってぐらいパスが繋がって、あるいはセカンドボールが拾えて、連動ある攻撃ができてたと思うし、何度となく決定機を作り出していた。ただ、その度にGK #1 神山竜一のビッグセーブなどで枠から弾き出されちゃったんだけど…。あと、福岡のオフサイドトラップに散々引っかかっていたような。もちろんDFラインの裏を狙ってるからなんだけど、それにしても14回は多い。もう少し、連携を深める必要があるなと感じた。

そして、選手交替をした直後の隙を突かれ、セットプレーでの失点。勢いを取り戻して、同点に追いついた直後の失点。どちらも「定石」とも言える、注意すべき時間帯のハズ。ベテランが多いチームなんだから、防げたはずの失点だ。大いに反省してもらいたい。

本当に悔しい敗戦なんだけど、まあ、こんな試合もあるのがサッカーだと割り切るしかないかな。次の試合は「うわあ…」と頭を抱えるのではなく、「よっしゃ！」と腕を突き上げるプレーを数多く見せて欲しい。

(ささたく)

●う～ん。どうして、いつもこういう結果になってしまうんだろう？ またしても、ホームで福岡に敗戦。J参入以来続いているホームでの対福岡未勝利記録が伸びてしまった。福岡でのアウェイでは3勝もしてるのになんでだろうね？ 前節で試合をした愛媛とのアウェイ戦も未勝利(こちらは、さらに無得点継続中)が続いているけど、FC岐阜の七不思議の一つだな。あとの5つは知らないけれど……。

負けるのはゲームだから仕方のない時もある。内容的にも負けて当然という試合なら悔しいけれど納得はできる。もちろん、この試合もなんでもなさそうなスローインから一発決められたりしているので猛省を促したい気持ちはある。それでも、前半から決定機を立て続けに演出していたのはウチの方だ。特に、前半の智大のループとか、ナザリトへのパスとか。そして、後半開始直後、三都主からナザリトへのピンポイントクロス、そしてミサイルみたいなダイビング・ヘッド。このうち一本でも決まっていたら……。ホントにもったいない試合だった。

しかし、福岡とやる時は一方的にやられた記憶はない。いつも接戦か押してる流れなのに、いつのまにか持ってかれてる。そんな感じ。これは気持ちの問題なのか？ 選手が入れ替わっても、福岡の選手の方が勝利に対して貪欲なのだろうか？ そんなことはないと思いたい。今回はやられたけど、次回の対戦では必ず。長良川での屈辱はレベスタで晴らす。ぜひとも、意地を見せてほしい。

それでも、見どころはたくさんあった。終了間際の三都主の同点弾は鮮やかだった。誰もが思いっきり蹴る！ と思った中

でのコントロール・ショット。一瞬時間を止めたかのようなシュート。「息を飲む」という形容を現実化したゴールだった。また、それを演出した野垣内のドリブルとクロスにもシビれた。ああいう場面をもっともっと見せてほしい。それから、何と言っても智大。もう少し、あとホンのちょっとでゴールだった。生まれ育った町のクラブを相手にイイところを見せるチャンスはいくつもあっただけに実に惜しい。試合前の選手紹介の時にも、試合後にも福岡サポから拍手やチャントを贈ってもらっていただけにいろいろ思うことがあるだろう。その思いをバネに、次こそはゴールを決めてほしい。負けはしたけどゴールも奪えたり、こういう内容を続けられるのであれば悲観することはない。下を向くことなく、今度こそ長良川で勝利を勝ち取る！ それにしても……。ここまで無得点だったのは一試合だけ。やっぱり、点が決まる瞬間ってのはイイもんですね。(ぐん)

## 【セカンド】 天皇杯・全社予選スタート

●全国に9つある地域リーグ。東北リーグは3月下旬に始まっていて、関東や関西なども4月に入って続々と開幕していますが、例年通り4月の東海地区は「天皇杯」「全国社会人(全社)」の予選が集中開催されます。我らがFC岐阜セカンド(以下『セカンド』)は2回戦からの登場、4/6に、人工芝ピッチに生まれ変わった島西グラウンドにて池田FCと対戦しました。

このピッチ同様に「生まれ変わった」『セカンド』。昨年の主力選手のうち3人はトップチームに昇格(田中智大、遠藤純輝、比嘉諒人)、4人はJFL「アスクラロ沼津」に移籍(馬場将大、鈴木梓司、柳澤隼、緑悟)。果たしてどこまで「チーム」になっているか？ というところですが、リーグ戦開始前の県予選の段階では、それを求めるのはなかなか厳しい(苦笑)。スコアは6-0と圧勝でしたが、DF面では修正の余地大いにあり、という感じ。もちろん、これから練習や試合を通じて修正されていくでしょう。

土曜日にトップの試合が終わっての晴天の日曜の昼からの試合だったので、岐阜サポ観戦者も多かったのですが、注目を集めたのは途中交代の10番・渡邊一也。FC岐阜U-18出身なんです。「ユースの母」達の声援もまた大きく。見せ場は作れましたが、残念ながらゴールはなし。今後に期待です。

『セカンド』は次の古川クラブ戦も5-0で勝利し、県予選を勝ちあがっています。次の試合は今日(20日)にジョカトーレ・クラシック戦、これに勝つと、その次は27日に大垣南公園で13:30から「テクノ渡辺 × 長良クラブ(東海2部所属)の勝者」との準決勝になります。この準決勝に勝つと「天皇杯岐阜県最終予選」「全社東海予選」への出場権を得ます。

(吉田铸造)

※試合会場・時間に変更の可能性があります。岐阜県サッカー協会の公式サイトでご確認ください。

## 【第7節】横浜FC 0-1 岐阜

●ニッパツ三ツ沢球技場は、サッカー専用スタジアムで見やすく個人的には好きなスタジアムの一つだ。ただし、スタジアムグルメにありつくには“ドレスコード”をクリアしなくてはならないなど、不満な点もあるのだけれど。まあ「勝ったスタジアムは良いスタジアム」なので(笑)。

それにしても、わずかにシュート2本で勝利できるとは。「勝ちに不思議の勝ちあり」とは言うけど、シュートが前半2本、後半ゼロとは。後半17分に阿部が退場になったんで、「守りきって(あわよくばカウンターで得点して)勝つ」という方向に戦術がシフトして、仕方ない面もあると思うんだけど。後半の30分間は、こういう1点差で追われる試合展開は今期まだなかったので、久しぶりに長く感じた。それでも選手は1人足りない穴を埋めるべく必死に走ってたし、ボールに身体を寄せてシュートコースを空けさせてなかった。おかげで攻められてたけど、それほど致命的なピンチは無かったかなと思う。試合終了の笛が鳴った後、座り込んでいる選手は岐阜の方が多かった。(ナザリトが倒れ込んでたのは、怪我したのかと思ったけど監督コメントを読むと体調不良のためだったのかな?) それだけ厳しい試合を、勝利への執念で逃げ切った選手たちには、賞賛を送りたい。特に自分のJ2通算出場300試合を完封勝利で飾った木谷選手、本当におめでとう! でも、純輝には…今日のプレーには苦言を呈せざるを得ない。2nd(つまり東海リーグ1部)では通用した強引なプレーも、Jでは(なかなか)通用しないことを考えるべきだし、1点リードして10人になった状況で、途中投入されたFWがどんな動き・プレーをするべきか、もう少し考えてみてほしい。まあ若さ故の過ちとも言えるんだけど、「サッカーを勉強してほしい」って監督に言われちゃったものね。この反省を次にしっかりと活かしてほしい。でも試合終了後にアレックスからはヘッドロックされながら怒られ、泰輔からはボトルの水をピューピューとかけられて、恐縮していたのは笑えた(笑)。ともあれ、4試合振りに勝利! いやぁ慣れとは怖いもので、昨年はこの時点で未勝利未ゴールだったんだけど、そんなことは忘れて、もっとFC岐阜のゴールを、勝利を見たがっている自分がいる(苦笑)。この勝利で再び勢いを取り戻して、勝ち続けて欲しい、頼むよ!

(ささたく)

●勝った。なんとか勝った。いや、勝てた、というべきか。昨季の浅中・鳥取戦がフラッシュバックするようなキツイ試合。シュートが2本。それも前半のみで後半はゼロ。しかも、そのうち1本はPK。「勝てる時はこんなもん。シュートはなくても相手がプレゼントしてくれる」。そんな感じの勝ち方。実際、録画を見ても泰輔へのチャージは微妙だったし……。その分、後半の正紀への2枚目の警告を含めてウチへのジャッジは辛めだったような気がする。あくまで私見だけど。とにかく、試合をまだ30分以上残しての退場はとんでもなく厳しいし、ゲームプランへの影響は計り知れない。しかし、トラックのないフットボール専用スタジアムで見易いはずのニッパツ三ツ沢球技場でも、正紀のあのプレーにナゼ警告がでたのかはわかりづらかった。リーグの公式を見たら理由は「遅延行為」となっていた。つまり、相手のユニを引っ張っていたとかではなく、笛が鳴った後でボールに触って動かした(ゴール裏からは、判定に不服があって、そのため思わずボールを蹴った……ようには見えなかった)が対象になったということなら、主審にそう取られるような行為はすでに一枚警告をもらっている立場を考えれば、いかにも軽率というそしりは免れないところかな? しかも、そこが自陣の深い位置ならともかく、相手の陣地だったうえに1点リードしているという状況だから全くもってもったいなかった。これを糧にさらにレベルアップを図ってほしいし、ルーキーで開幕からここまでオール先発フル出場。それも、キャンプを練習

生という立場で過ごした彼にとってはいい息抜きになるかもしれない。今節の栃木戦は初めてスタンドからの観戦になるけれど、見方を変えることで次節以降のイイ経験になるようにしてほしいね。アレ? もしかして、サイン会要員になるのかな? もし、そうなら久しぶりに並んでみようか(笑)。

それにしても、アウェイで10人になる。相手よりも1人少ない状況というのはやはり厳しい。本当に選手が最後まで粘って耐え抜いてくれた。すばらしい集中力だった、守備陣は。う〜ん、ゼイタクを言うてはいかんが、横浜の攻撃を防いだ、交わしたあとの戦略がイマイチ徹底出来てなかった気もする。追加点を狙うのか、時間を使うのか。どういう指示が出ていて、ピッチ上の選手達にはどう伝わったのか。まあ、ぶっちゃけると純輝ガンバレ! あそこで決められるように、相手をいなせるようになってくれ! ってことかな? (それは、前節の智大にも言えることだけど)

それでも、気迫で守り抜いた先制点。5試合ぶりの白星勝ち点3。昨季がアレ(開幕7戦未勝利無得点)だっただけに、初の開幕連勝というだけで、ほとんど危機感なかったけど、冷静に考えれば昨季の鳥取がフラッシュバックしてくるワケで。ベテランが多いだけに勝ち点的にも常に先行し、余裕をもって戦えるようになってほしいね。今節・栃木戦はついにCBのコンビが変わるけど、それがいい競争になってレベルアップになるよう期待してます!

(ぐん)

## 【ユース】いよいよ シーズンスタートです

●我らがFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)は2014年度はG1リーグに参戦します。そのG1リーグの日程が先週県協会のサイトにて発表されました(FC岐阜のアカデミーのサイトでも確認できます)。

そして4月13日(日)に第1節の試合が行われました。対戦相手は帝京大可見B。昨年の対戦成績は1勝1敗だった相手です。私は観戦は出来ませんでした。試合は相手に先制されましたが、前半の内に逆転に成功。後半は両者無得点で2対1で勝利する事が出来ました(バンザイ)。幸先良いスタートを切る事が出来て何よりです(嬉)。

第2節は5月6日(火・祝)に大垣工業高校と関市中池グリーンフィールドにて12時半KOです。この日はトップチームはナイターなんで良ければ観戦に行っておいて下さい。

一方、例年4月から予選が開始される日本クラブユースサッカー選手権の日程も発表されました。今年は名古屋・清水・磐田・JFAアカデミーが参加するPPリーグ(プレミア・プリンスリーグ?)とその他の4チームが参加する1次リーグに分かれてリーグ戦を行い、リーグ戦後に実施される最終トーナメントで全国大会に出場する3チームを決めます。FC岐阜ユースは1次リーグに参加。ここはしっかり勝ち進み、最終トーナメントに挑みましょう。

1次リーグのFC岐阜ユースの試合日程は4/20(日)12時30分KO@名古屋市港サッカー場でFCERDE戦、4/27(日)15時KO@名古屋商科大学で尾張クラブ戦、5/11(日)12時30分KO@名古屋市港サッカー場で愛知FC戦となっています。こちら良ければ観戦に行っておいて下さい。

頑張れよ、応援しているからな! FORZA! FC岐阜ユース!!

(シュナ)

※試合会場・時間は変更の可能性があります。岐阜県サッカー協会及び東海クラブユースサッカー連盟の公式サイトでご確認下さい。

